

2024（令和6）年度「全国学生調査」

【目的】 文部科学省HPより

学修者本位の教育への転換を目指す取組の一環として、学修の主体である学生目線からの大学教育や学びの実態把握を通じて、以下(1)～(4)への活用を目的とする

- (1) 各大学が自大学の学生の実態や意識を踏まえた教育改善に活用すること
- (2) 大学進学希望者やその保護者あるいは地域社会、産業界、海外の留学関係者等から、各大学における学生の学修成果や大学全体の教育成果にこそ関心を持ってもらい、大学に対する理解を深めてもらうこと
- (3) 今後の我が国における政策立案に際しての基礎資料として活用すること
- (4) 学生一人一人にとって、これまでの学びを振り返ることで今後の学修や大学生活をより充実したものにしてもらうことや、卒業後の社会における自らの姿を考える上での一つの契機としてもらうこと

※全国の結果はこちら: https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/chousa/1421136.htm

【調査対象】 学部生

【調査方法】 Googleフォーム

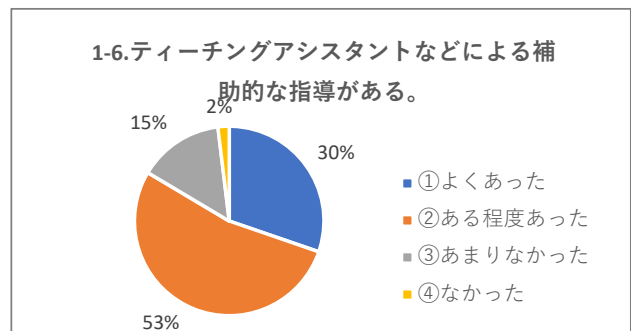
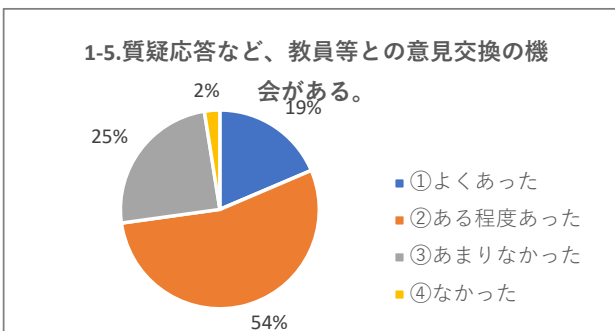
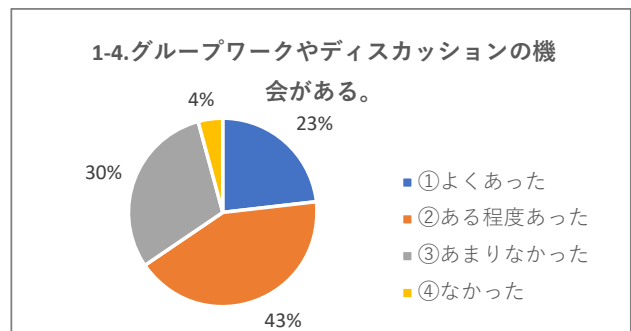
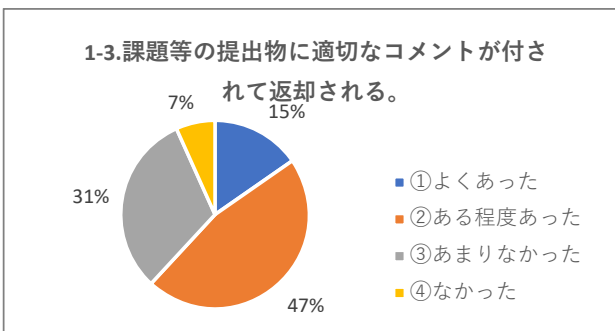
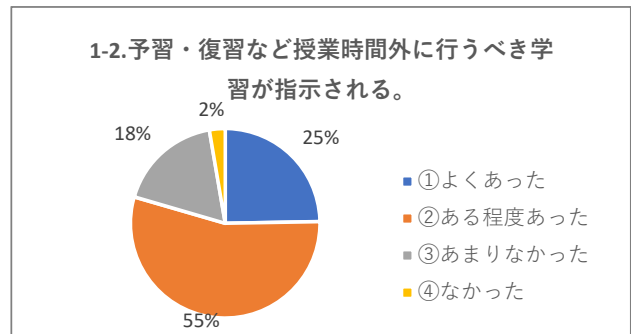
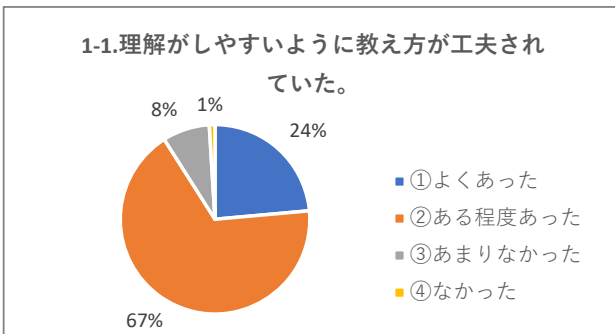
【調査期間】 2025年2月13日(木)～3月14日(金)

【質問項目】 選択式31問・自由記述式1問

【回答率】

学部	対象者	回答者	回答率	学科	対象者	回答者	回答率
工学部	1,728	253	14.6%	E	356	135	37.9%
				H	384	25	6.5%
				J	395	25	6.3%
				N	238	13	5.5%
				U	355	55	15.5%
情報通信工学部	1,093	41	3.8%	P	713	17	2.4%
				F	380	24	6.3%
建築・デザイン学部	447	89	19.9%	C	339	86	25.4%
				D	108	3	2.8%
医療健康科学部	778	22	2.8%	L	348	9	2.6%
				Y	171	6	3.5%
				S	259	7	2.7%
総合情報学部	1,530	117	7.6%	W	618	72	11.7%
				B	500	25	5.0%
				T	412	20	4.9%
合計	5,576	522	9.4%	合計	5,576	522	9.4%

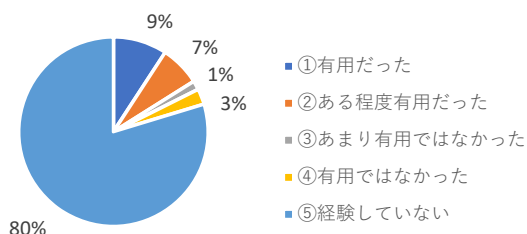
問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。
 (選択肢:①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった)



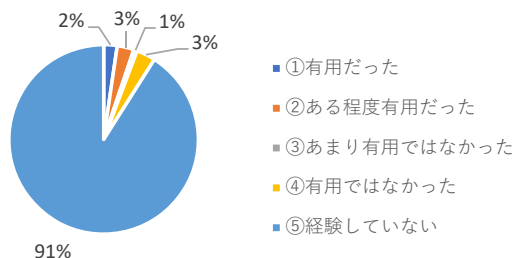
問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は⑤を選択してください。

(選択肢:①有用だった、②ある程度有用だった、③あまり有用ではなかった、④有用ではなかった、⑤経験していない)

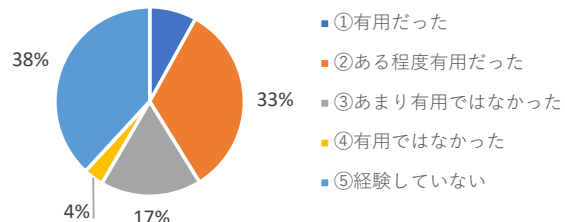
2-1.インターンシップ（5日間以上）



2-2.海外留学・海外研修（短期も含む）



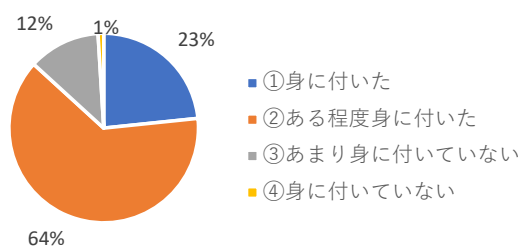
2-3.主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



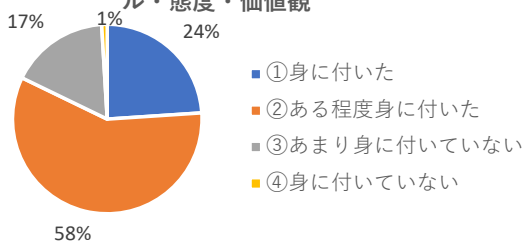
問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

(選択肢:①身に付いた、②ある程度身に付いた、③あまり身に付いていない、④身に付いていない)

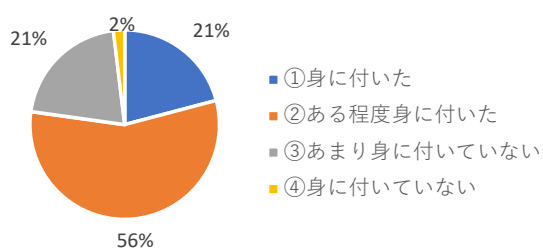
3-1.専門分野に関する知識・理解



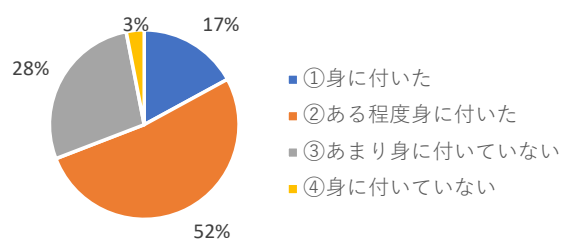
3-2.将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観



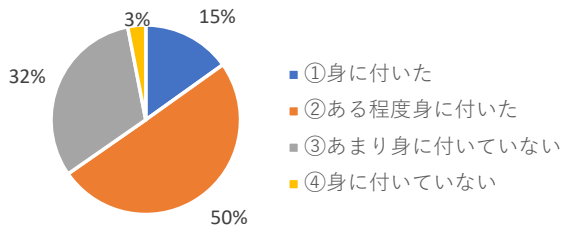
3-3.文献・資料を収集・分析する力



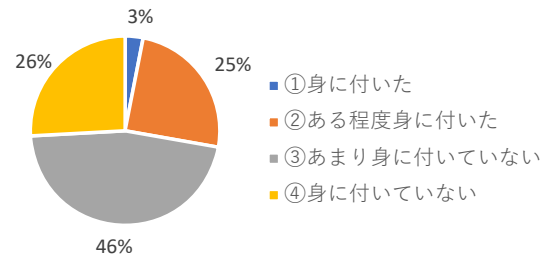
3-4.論理的に文章を書く力



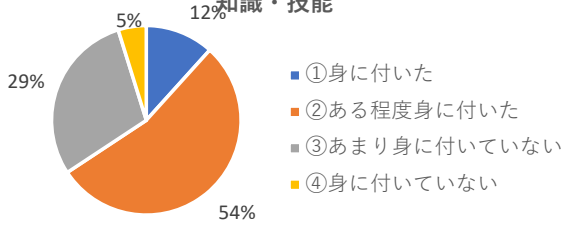
3-5.人に分かりやすく話す力



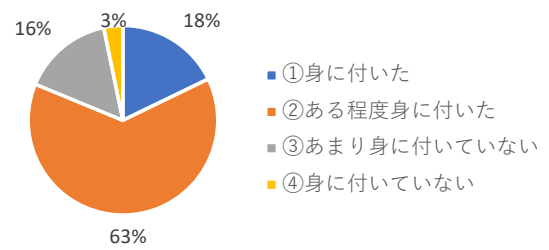
3-6.外国語を使う力



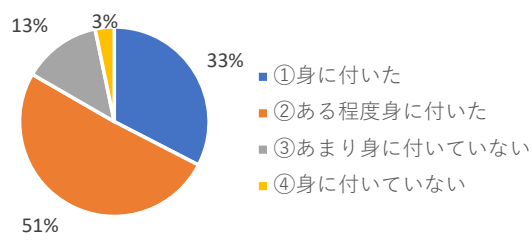
3-7.数理・統計・データサイエンスに関する
知識・技能



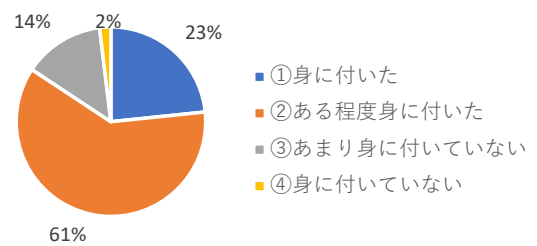
3-8.問題を見つけて解決方法を考える力



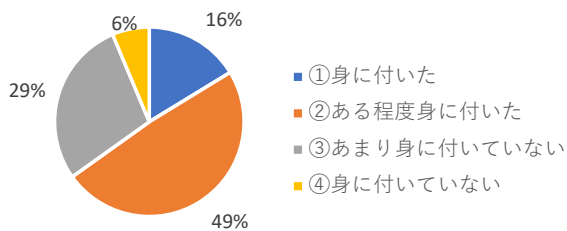
3-9.他者と協働する力



3-10.幅広い知識、ものの見方

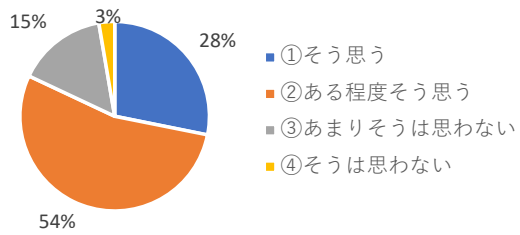


3-11.異なる文化に関する知識・理解

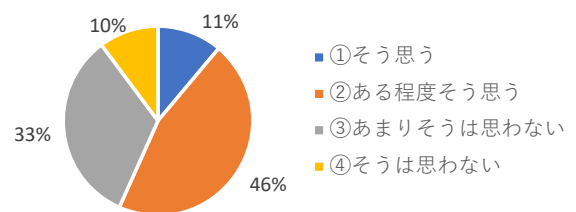


問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。
 (選択肢:①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない)

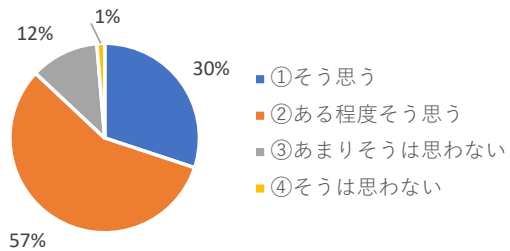
4-1. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。



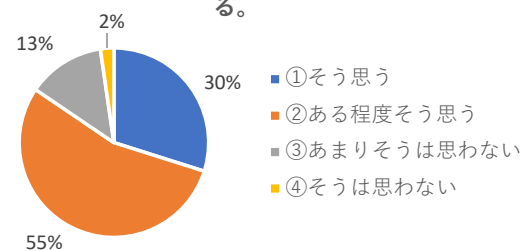
4-2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。



4-3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。



4-4. 大学の学びによって成長を実感している。



問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。
(選択肢:①0時間、②1-5時間、③6-10時間、④11-15時間、⑤16-20時間、⑥21-30時間、⑦31時間以上)

